

交通事故による傷害の防止

2年 組 番 名前 _____

1 次の写真を見て、気づいたこと、分かったこと、思ったことをできるだけたくさん書きましょう。

写真1

写真2

学習課題

2 次の写真の中に、かくれている危険を「ふせん紙」
に書き出して、できるだけあげてみよう。

自分の班の
写真番号は

	予想される危険	その危険を回避する方法や改善策
人的要因		
環境要因		
車両要因		

3 たくさんのキーワードがありました。まとめてみましょう。

交通事故を防ぐためには、人的要因、環境要因、車両要因の、それぞれに対策が必要である。

人的要因では、

- () を守ること。
- もしかしたら、来るかな? という気持ちをもって () や () の動く状況を予測して運転すること。
- 信号がない、せまい、歩道がないなどの () 状態を把握して運転すること。
- 雨、風、雪などの () 条件を頭に入れて運転すること。
周囲の状況に応じ、() に行動することが必要である。

安全 車 道路 交通法規 人 気象

環境要因では、

- 道路などの () を整備したり、() したりすることも必要である。

車両要因では、

- 自転車を確実に () し、トラックの巻き込み事故などにもみられる () などの自動車の特性をして行動したりすることも大切である。

このようにして、危険を () し、それを防ぐ行動をとることが必要となる。

改善 予測 内輪差 点検 交通環境

まとめ

- ☆ 交通事故や交通事故による傷害を防ぐには、どのような対策が必要だろう?
学習からわかったことをもとにしてまとめてみよう。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--